歳出（町の支出）

質疑

総務費

職員研修の重点は何か

横山委員 職員の人材育成で大切にした点は何か。

総務課長補佐 働き方改革、業務改善が特に目立った。

高齢者後付踏み間違い急発進抑制装置

金田委員 補助金の決算額が予算額に対し大幅な減となった要因は何か。

町民課長 後付けできる車種が限られていること。新車を買い替える際に、その機能のある車種を検討することが多かったことなどによると考えられる。

デジタル推進の成果

笹原委員 デジタル推進の具体的な成果は何か。

企画政策課長 主にICT推進方針を立てた。また、各地区のコミュニティセンターで開かれたスマートフォン教室へ講師派遣の支援を行った。

マイナンバーカードのセキュリティは

竹田委員 国へのサイバー攻撃もあるが、マイナンバーカードのセキュリティ状況はどうなっているか。

町民課長 マイナンバーはネット上に流出することがない仕組みになっている。登録口座情報もデジタル庁で管理し、十分な対策を講じていると認識している。

民生費

第2期健康と福祉の里構想

竹田委員 構想を今後どう推進していくのか。

健康福祉課長 マンパワーの確保と、拠点としての健康福祉センター及び町立病院の長寿命化対策が重要であり、関係部署と連携を取りながら対応していきたい。

すこやか・安心地域づくりモデル事業の成果は

横山委員 どのような成果を得られたか。

健康福祉課長 地域住民が連携しながら主体的に地域課題の解決に取り組む仕組みづくりへの支援である。東根地区をモデル地区として事業を実施し、防災活動などを行っていただいた。

衛生費

子どもの健康づくり検診事業の中止の影響は

横山委員 2年連続で実施できなかったようだが、準ずる取り組みはあったか。

健康福祉課長 感染リスクなどを考慮して中止した。生活習慣など健康について話し合うための参考資料を送付した。

がん検診の受診率

奥山委員 同日検診、人間ドックで実施するがん検診の受診率と早期発見の啓発を伺う。

健康福祉課長 対象となる40歳以上の受診率は、人口対比で、肺がん検診44％、胃がん検診25・4％、大腸がん検診40・4％、子宮頸がん検診と乳がん検診はいずれも20％という状況。

がんの恐ろしさだけでなく、早期発見・治療が長生きにつながるというプラスの面を前面に出したピーアールをしていきたい。

労働費

正社員化促進事業の実績は

横山委員 正社員化促進事業の実績はどうか。

商工観光課長 4名が正社員に転換した。令和3年度中の支給は2名で30万円、残りは令和4年度に申請していただき支給となる。

横山委員 企業への周知方法はどうしているか。

商工観光課長 町報と町ホームページ掲載のほか、事業所への文書送付時に周知文書を同封している。